Osaka Prefecture University

Instructions for Authors　執筆要領

Ⅰ．欧文原稿の作成方法

1　A４版（210㎜×297㎜）またはこれに近い大きさのタイプ用紙に，ダブルスペースで印字する。用紙の周囲に約３㎝の余白を残す。

2　原稿の第１ページには，論文題名，著者名，所属を記載し，下端にRunnıng Tıtle（奇数ページの上に見出しとして印刷される）を以下のように記載する。

A）　論文題名　冠詞，前置詞，接続詞を除く語の頭文字を大文字とする（学名など規定のある場合を除く）。第○報の場合には，1，2，3のようにする。

記載例

The Waltzıng Mutant ın the Shrew (*Suncus murınus*, Insectıvora) Characterızed by the Cırclıng and Head-Shakıng Behavıors 1 Inherıtance and Breedıng

B）　著者名　名，姓の順（外国人が著者の場合はその国の習慣に従う）にローマ字で表記する。著者が２名の場合は“and”でつなぎ，3名以上の場合は最後の著者以外を“,”でつなぎ，最後の著者を“, and”でつなぐ。

記載例

Ichıro KAWASAKI and Jıro YAMADA　（著者が２名の場合）

Ichıro KAWASAKI, Jıro YAMADA, and Saburo OGAWA　（著者が３名以上の場合）

C）　所属研究室名　Laboratory of　, Graduate School of Agrıculture and Bıologıcal Scıences, Osaka Prefecture Unıversıty の形式で記載する。

所在地・連絡先は（）内に(Gakuencho 1-1, Sakaı, Osaka, 599-8531, Japan)のように示す。

D）　Runnıng Tıtle　著者名は姓のみを記し，著者が３名以上の場合には第１著名のみを記して，第２著者以下をet alで表す。略表題は50文字以内とし，第○報は1, 2　のように記し，副題はつけない。

記載例

Kawasakı et al　Waltzıng Behavıoral Mutant of *Suncus murınus*-1

3　原稿の第２ページには，原著論文の場合には250語以内，総説，学位請求論文の場合には1, 000語程度の英文Abstractを記載する。Key Wordsは７個以内でAbstractの次に示す。短報および資料ではAbstractを省略できる。

4　本文は第３ページからタイプする。本文中の引用文献は，適切な個所に，(Yamaguchı, 2001)，(Abe et al , 1997a, Yamaguchı and Nakayama, 1999)のように記入する。

5　図・表の表題はFıg 1 Locatıon of　およびTable 2 Varıous cultıvars of　のように記入し，図の表題は図の下に，表の表題は表の上に記載する。注や説明は，図・表ともに図表の下に記す。

図は，そのまま製版出来るものを準備する。図中の文字，符号ともに写植済みとする。図の縮小率（長さ）を特に希望する場合は欄外に赤字で記す。

図表の挿入場所は本文の該当場所の右欄外に赤字で明記する。

6　引用文献（References）は著者名をアルファベット順に配列し，次の例にならって記載する。著者名，表題，誌名（書名）とも省略しない。

記載例

Oda, M , Dosaı, M , Ikeda, H , and Furukawa, H 2002 Causes of low survıval ın cucumber (*Cucumıs satıvus* L) plants grafted onto pumpkın (*Cucurbıta moschata* Duch) root-stocks by horızontal-cut graftıng at the center of the hypocotyl Scı Rep Grad Sch Bıol Scı , Osaka Pref Unıv , **53**, 1-6 (ın Japanese)（一般論文の引用例）

Snedecor, G W 1961 Statıstıcal Methods Iowa State Unıv Press, Iowa, p 13（単行本の１ページのみを引用した例）

Tanaka, T 1977 Nogyo Mondaı Fudaısha, Sakaı, 215pp (ın Japanese)（単行本全体を参考にした例）

Hendrıcks, S B and Bortwhıck, H A 1963 Control of plant growth by lıght *In* “Envıronmental Control of Plant Growth” (ed Evans, L T) Academıc Press, New York, 233-264（編集者の有る本の１章を引用した例）

7　その他，原稿のスタイルとレイアウトについては，最新の号を参照すること。

Ⅱ．和文原稿の作成方法

1　ワードプロセッサーを用いてA４版横書き原稿用紙に明朝体で記載する。

2　記述は新かなづかいに従い，学術用語以外は原則として当用漢字を用いる。外国語は片仮名を用い，人名その他でローマ字を記入する場合はローマン体（普通の活字体）を用いる。動植物などの学名はイタリック体指定とし，和名は片仮名書きとする。

3　原稿の第１ページには論文題名，著者名，所属（連絡先）ならびにそれらの英訳を記載し，下端にRunnıng Tıtle を記す。英訳およびRunnıng Tıtleの記載は英文原稿の作成方法に従う。

4　原稿の第２ページ以降には，摘要（末尾にキーワードをつける），英文Abstract（末尾にKey Wordsをつける），目次，本文の順にそれぞれ改ページして記載する。

5　図・表および欧文の引用文献は，欧文原稿の作成方法に従って記載する。和文の引用文献の記載は，下記の例に準じる。

記載例

白河紀男　1970　除草剤CMMPに関する研究（第４報）　特に作用機作について　園学雑，38，193－201

平井篤造・鈴木直治　1963　植物病理の生化学（後編）　農業技術協会，155－180

NII-Electronic Library Service